

製品名: RNase Z2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17278**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ELAC2
別名	ELAC2; HPC2; Zinc phosphodiesterase ELAC protein 2; ElaC homolog protein 2; Heredity prostate cancer protein 2; Ribonuclease Z 2; RNase Z 2; tRNA 3 endonuclease 2; tRNase Z 2
遺伝子 ID	60528.0
SwissProt ID	Q9BQ52
免疫原	抗血清はヒト ELAC2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

背景

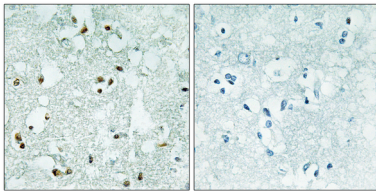
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、tRNA 3'プロセッシングエンドリボヌクレアーゼ活性を持つ C 末端ドメインを有し、前

駆体 tRNA から 3'トレーラーの除去を触媒します。このタンパク質は活性化 Smad ファミリーメンバー 2 (Smad2) およびその核パートナーであるフォークヘッドボックス H1 (FAST-1 としても知られる) とも相互作用し、発現低下は形質転換成長因子 β 誘導性増殖停止を抑制する可能性があります。この遺伝子の変異は前立腺癌のリスク増加につながります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2009 年 9 月],触媒活性: RNA のエンドヌクレアーゼ切断により、tRNA 前駆体から余分な 3'ヌクレオチドが除去され、tRNA の 3'末端が生成されます。tRNA 末端には 3'-ヒドロキシ基が、トレーラー分子には 5'-ホスホリル基がそれぞれ 1 つずつ残されている。補因子: 亜鉛。疾患: ELAC2 の欠陥は前立腺癌 (CaP) [MIM:176807]に関与している。機能: 亜鉛ホスホジエステラーゼ。tRNA 3'-プロセッシングエンドヌクレアーゼ活性を示す。前駆体 tRNA から 3'-トレーラーを除去することで、tRNA の成熟に関与していると考えられる。類似性: RNase Z ファミリーに属する。サブユニット: ホモ二量体。組織特異性: 広く発現している。心臓、胎盤、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓、精巣、卵巣で高発現している。脳、肺、脾臓、胸腺、前立腺、小腸、結腸、白血球でも弱発現している。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、DNA/RNA、RNA プロセッシング、がん、細胞周期、細胞周期阻害剤

画像データ



ELAC2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。